

1 個性のある子どもの成長を徹底的に応援！

- デジタル活用で学びの選択肢を増やす（デジタル地球儀、タブレット活用）
- 学校・園・学童での発達障がい支援、療育・特異な才能、医ケア児・保護者の支援を拡充



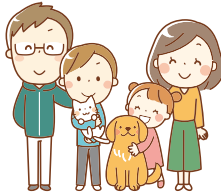
2 新しい地域のつながり！居場所・機会を創出

- 公園や公開空地などを活用したイベント・プレイパークの実施
- 企業と保護者の連携で中高生の居場所づくり
- シルバー世代のイベント、子ども・大人の文化・創作活動



3 かけがえのない家族動物福祉・愛護を推進

- リードなしで走れるドッグランの常設へ
- ペットのための防災対策を推進
- 飼い主が亡き後のペットの幸せに備える



4 都心における食の循環モデルを創設

- コンポスト⇒屋上農園⇒地域の八百屋さん⇒学校給食など
- 地方と連携し、区内で販売・マルシェ。農業・漁業・畜産業などを応援



小野なりこプロフィール

1973年2月 鹿児島生まれ、夫、娘（21歳）
 【趣味】カラオケ・人をつなぐ・飲食店巡り・芸術鑑賞
 短大卒業後、日系航空会社（客室乗員部）を経て独立。
 企業の人材育成や組織開発を支援。
 東京商工会議所女性会、麹町消防団第一分団に所属。
 2019年4月の統一地方選挙で初当選。
 現在千代田区議会議員一期目。



子育て共働き

保育園に入れず幼稚園を選択。託児所、区のショートステイ、病児保育、出張時には地方の託児所も利用。夫や近所の協力で何とか両立。周りの支援が必須と痛感。

学校活動（PTA）

家庭・仕事・PTA が両立できるように保護者同士で丁寧なコミュニケーション。ママ友の真摯な姿勢に感動した経験が、ライフワークの女性活躍推進に。

現在 千代田区議会議員として4年間

子どもからシニアまで、区民の皆さまから頂いたお声をもとに区へ提案・改善要望。都民ファーストの会に所属し、東京都との連携で千代田区をさらに良くする施策を進めています。

千代田区議会議員

小野なりこ

さんを紹介します



千代田区の改革には小野なりこさんが必要です

区民の皆様の
声をもとに

区議会議員4年間で、 様々な政策を実現!



✓ 里帰り育児中の自費ワクチン
接種を無料に(償還払い)



✓ 長期休暇中、学童のお弁当
配食で保護者の負担減



✓ 区立児童館の日曜開放は
まず2か所でスタート



✓ 高齢者のスマホ教室などを
実施



✓ 23年4月から、50歳以上の
带状疱疹ワクチン接種の補助へ



✓ 千代田区公式 LINE スタート



✓ 帰宅困難者の避難所開設
状況をデジタルで可視化へ



✓ SDGs・食の多様性を推進。
区役所食堂でヴィーガンメニューを実現
(日テレ NEWS で報道)



✓ 千鳥ヶ淵緑道の笹害対策を推進



さらに

東京都 小池知事&平都議と連携!



区民の皆様の声をもとに東京都で実現しました

✓ 不妊治療サポートの対象年齢を
42歳まで拡大。
さらに卵子凍結の費用を助成



✓ 特別支援学校への移動支援、
看護師配置の拡充



✓ 都庁食堂のベジ・ヴィーガン
メニューの復活



東京都と千代田区の連携! 都民ファーストの会は子育て・教育・福祉・行政改革を本気で進めます!

少子化対策に本気の政策

すべての子どもに月5000円給付
令和5年度にスタートを実現へ!!

所得制限
なし

所得に関わらずすべての子育て家庭に児童手当相当の支援を
小池都知事に重点政策として要望

▼東京の子育ての課題

- ・国の支援策には所得制限がある
- ・東京は家賃・物価・教育費が全国1位

希望する
子どもの数が
持てない

出産を応援

赤ちゃんファースト事業を実現

10万円分の
商品・サービスを
プレゼント



産前から産後まで
痛いところに手が届く
切れ目ないサポートを

とうきょう
ママパパ
応援事業



- 例えば
- ママの心のケアや家事をお手伝い
 - 家事の時短家電購入補助
 - 多胎児の家庭支援

ママもパパも
子どもや育児とゆっくりしっかり
育業を^(※)当たり前

パパの取得
現在は
わずか **13%**

※育業は、育休の新しいネーミングです。

子どもの学び方に
自由と選択肢を!

東京には3.3万人の不登校の
子どもがいます。個々に合う
多様な学び方や場を都内に広
げていきます。

フリースクール認証
制度の創設を



経済格差を
教育格差に
しない社会

塾代支援の
大幅拡充を
実現

令和5年は都立高校の校内で
無料学習塾を創設実現へ

都立高で予備校の
受験勉強ができる!



東京の介護を変える!
介護度の改善・維持
への報奨金創設

➡ 少しでも長く元気に過ごせる
東京シニアライフを実現させます

現在の制度は～

要介護度が上がると、報酬も上がる
➡ 事業者が自立支援を頑張ると
損する仕組み

マンション防災
を強化!!

集合住宅で
暮らす都民7割

- ・エレベーターの閉じ込め、
停電のリスクが浮上
- ・最新の被害想定
の課題
- ・地域との繋がりが薄らい人が多く共助が弱い

エレベーター備品ボックス設置と
住民の再稼働訓練を進めます

東京の防災をアップデート

くらしを守る!!

コロナ禍で物価高が暮らしを圧迫
生活者目線での支援に取り組みます

東京生活応援事業

キャッシュレスやポイント還元
などを行う区市町村を応援

おこめクーポンを配布へ

低所得世帯へ

米や野菜を届けます



多様な性のあり方が前提の社会へ
東京パートナーシップ
制度がスタート!

東京都職員の福利厚生、都営住宅
の入居条件、都立病院での対応、
里親の認定、学校の制服や対応な
ど一つ一つを改定しています

今後も→ 東京都と区市町村の連携を強化し、
生活の隅々まで性の多様性を行き渡らせます

靈感商法へ

NO

- ・インターネットやSNSの
被害防止広告を掲載
- ・消費者センターでの相談体制強化
- ・区市町村での取組を支援強化
- ・悪質な商法による被害を増やさない
被害者を支援します!

など